

## 令和6年産米の生産目標（生産の目安）について

令和5年11月28日に滋賀県農業再生協議会臨時総会が開催され「令和6年産米の生産目標（生産の目安）」が決定されました。その概要は以下のとおりです。

### 1. 令和6年産米の生産目標（生産の目安）

令和6年産米の生産目標（生産の目安）（以下「生産の目安」という。）は、以下の考え方により算出されました。

#### <令和5年産の作付実績>

- 本県の令和5年産の主食用米作付面積は、令和5年産米の生産の目安よりも少なく、作況指数「97」（やや不良）となり、生産量は大きく減少。

年産	県域の生産目標 (A)		実績 (B)		増減(実績-目安) (B)-(A)		作況指数 (全国/滋賀)
	生産量(t)	面積(ha)	収穫量(t)	作付面積(ha)	数量(t)	面積(ha)	
令和4年産	147,396	28,455	144,900	27,700	-2,496	-755	100/101
令和5年産	144,840	27,962	136,100	27,000	-8,740	-962	101/97(やや不良) <sup>※1</sup>
	増減(R5実績-R4実績)		-8,800	-700	※1)R5年産の作況指数は、10月25日現在		

#### <令和5年産米の集荷、供給状況>

- 京阪神の卸等は、2024年物流問題を見据え、近郊産地の米を集荷したい意向があり、滋賀県産米（以下「近江米」という。）の引き合いは強いが、収穫量が減少したため、集荷業者等に米が集まらず、卸等が求める近江米の数量を供給できていない。
- その不足数量は、JAグループおよび主食集荷商業協同組合に聴き取った結果等から、約10,000トンと見込まれる。

#### <令和6年産米の生産目標（目安）>

- そこで、令和6年産米の生産の目安は、卸等から求められている近江米の数量として、令和5年産米の収穫量136,100トンに、卸等の需要に対し供給できていない数量10,000トンを積みあげた146,100トンとすることとして決定。

令和5年産米の 本県の収穫量		卸等の需要に対する 不足数量			令和6年産米の生産 目標（生産の目安）
136,100トン	+	10,000トン	=		146,100トン

### <今後の対応>

- ・ 卸等が求める近江米の数量を安定生産・供給し、産地としての信頼を再構築するとともに、近江米の需要量シェアの維持・向上等を図る。
- ・ 関係機関・団体が「求められている米」の情報収集を行うとともに、「誰に」「どのように」主食用米の作付けを推進するか等について地域で検討し、農業者に作付提案されるよう働きかけていく。

### 令和6年産米の生産目標（目安）

項目	滋賀県		全国※ <sup>1</sup>
	数量(トン)	面積換算値(ha)	数量(万トン)
令和5年産米 生産の目安…①	144,840	27,962	669
令和6年産米 生産の目安…②	146,100	28,205	669
「生産の目安」の増減…②－①	1,260	243	0
[参考]令和5年産生産実績…③	136,100	27,000	661
[参考]令和5年産生産実績と令和6年産米生産の目安との比較 …②－③	+10,000	+1,205	+8

※1 令和5年産の全国値は、令和4年10月に公表された「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」における「主食用米等生産量」。

## 2. 令和6年産米の市町農業再生協議会別の生産の目安の算出

令和6年産米の市町農業再生協議会別の生産の目安は、以下の方法により算出する。

- ・ 令和6年産米の本県の生産の目安に、市町毎に算出した直近5ヶ年の「市町別水稻収穫量」の中庸3ヶ年の平均値のシェアを乗じて算出する（昨年度と同様）。

## 3. これまでの経過および今後のスケジュール

月日	内容
令和5年10月19日	国の「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」が公表
令和5年11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滋賀県農業再生協議会臨時総会 令和6年産米の生産目標（目安）が決定</li> <li>・ 県農業再生協議会長から市町農業再生協議会長あて令和6年産米の生産目標（目安）を通知</li> <li>・ 県農業再生協議会のホームページに掲載</li> </ul>
令和5年12月1日	市町農業再生協議会担当者説明会にて詳細を伝達
令和5年12月～ 令和6年2月頃	各市町農業再生協議会から集落等へ生産の目安を通知
令和6年6月末	経営所得安定対策等の交付金に係る営農計画書の提出期限